



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技
競技記録

成年男子準決勝

東京 95 ○ 74 ● 京都

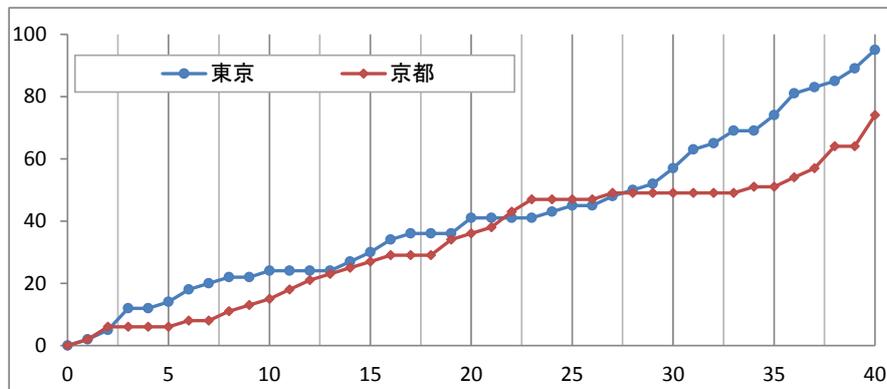
主審 藤垣 庸二 (宮城)

副審 黒岡 和哲 (大阪)

加藤 昌樹 (愛知)

24 - 15
17 - 21
16 - 13
38 - 25
-

No. 20G-1 日時: 2014年10月20日(月) 10:00 会場: 三菱重工総合体育館



東京

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 山田 純也	8	0	4	0	0	6	1
5	福田 侑介	9	3	0	0	0	1	0
6	* 鈴木 伸之 (C)	3	1	0	0	2	1	1
7	岩下 達郎	17	0	5	7	2	8	0
8	福田 大佑	8	1	0	5	2	4	3
9	* 小林 純也	15	1	3	6	2	5	2
10	* 小松 昌弘	2	0	1	0	1	8	3
11	森川 純平	14	3	2	1	0	5	3
12	立花 大介	5	1	1	0	3	1	3
13	高田 歳也	6	0	2	2	2	1	2
14	* 吉留 将平	6	0	3	0	2	6	2
15	加藤 耕太郎	2	0	1	0	1	0	0
コーチ	奥山 興祐							
合計		95	10	22	21	17	46	20

京都

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 長倉 脩 (C)	14	0	6	2	3	6	1
5	井林 宥輔	2	0	0	2	3	8	0
6	川地 昌吾	2	0	1	0	2	3	0
7	竹原 太一	-	-	-	-	-	-	-
8	木村 励	4	0	2	0	2	2	2
9	* 木村 理	0	0	0	0	3	2	0
10	* 井関 慎平	9	1	2	2	1	3	4
11	* 塩谷 亨	12	3	1	1	2	7	2
12	佐藤 将斗	7	1	2	0	3	6	3
13	石川 琢巳	0	0	0	0	0	1	1
14	* 加藤 寛樹	12	2	3	0	3	2	0
15	荒谷 優斗	12	2	3	0	3	0	0
コーチ	西田 和史							
合計		74	9	20	7	25	40	13

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

準決勝、前日接戦を制した東京都と京都府との試合。1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。京都府が#4の得点で先手をとる。対する東京都は#6の3Pや#4と#9のバスケットカウントで応戦する。攻撃の手を緩めない東京都は#4の速攻などで主導権を握る。京都府はゾーンディフェンスに変更するが流れを変えることはできず24-15の東京都リードで1Q終了。2Q、京都府はゾーンディフェンスからリズムを掴み反撃に転じる。#10の3Pや#4の連続ポイントで24-23の1点差に迫り、東京都はたまたまタイムアウト。東京都は#11が連続3Pなどを決め差を広げるが、京都府はディフェンスを変えながら攻撃に転じる。#12の速攻や3Pで追いつくが、東京都の#5に3Pを決められ41-36の東京都リードで前半終了。

3Q、東京都はマンツーマンディフェンス、京都府はゾーンディフェンスでスタート。リズムを掴んだのは京都府。#4のバスケットカウントや#14のミドルシュートで逆転。東京都はなかなかリズムに乗れず、47-41となったところでタイムアウト。東京都は#14のタップシュートやゴール下シュートで食い下がる。両チームメンバー交代をしながら好機を窺う。東京都#7がオフェンスリバウンドからファウルを誘いフリースローを落ち着いて決め1点差、さらに#9の速攻が決まり逆転する。55-49となったところで京都府タイムアウトを取るが、東京都#7のゴール下シュートが決まり、東京都57-49京都府で3Q終了。4Q開始早々、#12と#11の3Pが決まり東京都が波に乗る。東京都はディフェンスを強めてプレッシャーをかけ、65-49となったところで京都府がタイムアウトを取る。京都府は苦しいシュートで得点が伸びない。なおも攻撃の手を緩めない東京都は#7のオフェンスリバウンドからの得点や豪快なワンハンドダンクシュートが決まり優位に立つ。京都府も#14や#11の3Pやバスケットカウント、さらに#14が3Pを決めるが、東京都が落ち着いてゲームメイクで95対74で試合を制した。最後までボールを追い続けた京都府の粘りにも拍手を送りたい。

記載者 竹下 徹 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

成年男子準決勝

福岡 71

9	18
27	14
16	14
19	22
—	—

68 神奈川

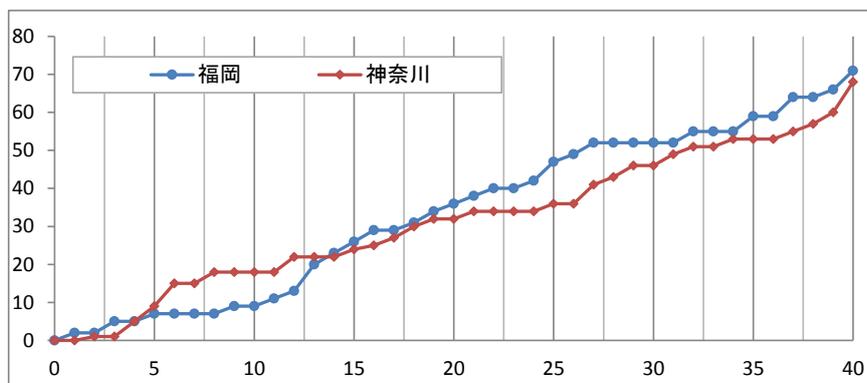
主審 吉橋 雅一(愛知)

副審 有澤 重行(山口)

富島 健司(京都)

No. 20G-2 日時: 2014年10月20日(月) 11:55

会場: 三菱重工総合体育館



福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	古野 拓巳	12	2	2	2	1	4	3
5	* 田中 喜陽	10	0	4	2	0	8	2
6	* 織田 秀司	5	0	2	1	0	7	1
7	* 吉満 俊孝 (C)	2	0	1	0	2	0	2
8	中深迫 諒太	0	0	0	0	2	1	0
9	赤星 雄平	11	3	1	0	4	6	3
10	* 松谷 直人	0	0	0	0	0	2	1
11	三友 康平	9	0	0	9	1	4	3
12	柚木 毅	—	—	—	—	—	—	—
13	村瀬 敦希	11	2	2	1	3	4	1
14	* 毛利 孝志	11	0	5	1	3	6	0
15	熊谷 駿	—	—	—	—	—	—	—
コーチ	山口 健太郎	—	—	—	—	—	—	—
合計		71	7	17	16	16	42	16

神奈川

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 坂口 貴 (C)	7	0	3	1	1	10	1
5	梅林 聡貴	7	1	2	0	1	0	1
6	* 成瀬 新司	16	1	5	3	2	8	2
7	傳田 知也	—	—	—	—	—	—	—
8	* 吉田 司	0	0	0	0	4	1	5
9	増川 翔太郎	3	0	1	1	2	1	0
10	岩田 涼太	14	2	3	2	3	0	0
11	* 木村 勇太	8	1	2	1	1	6	1
12	松本 怜	2	0	1	0	3	3	2
13	福田 洋介	0	0	0	0	0	1	0
14	* 本郷 友敬	11	3	1	0	1	5	0
15	森田 洋介	—	—	—	—	—	—	—
コーチ	小山 泰介	—	—	—	—	—	—	—
合計		68	8	18	8	18	35	12

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

準決勝、激しいディフェンスが持ち味の福岡県と、昨日の試合で大逆転勝利をおさめ、勢いに乗る神奈川県との対戦。第1Q、神奈川はゾーンディフェンス、福岡はマンツーマンディフェンスでスタートする。福岡は、#5や#14を中心にインサイドにボールを集めるがなかなか得点することができない。一方神奈川は、#6のカットインプレーや#14の2連続スリーポイントなどでリードを奪い9対18で第1Qを終える。第2Q、福岡が#11のゲームメイクによる活躍で徐々に息を吹き返す。そして残り7分で#13のレイアップ、#4のスリーポイントで逆転。福岡の激しいディフェンスが次第に機能し始める。さらに#9、#13のスリーポイントで神奈川を突き離す。しかし、神奈川は#6のバスケットカウントやアウトサイドシュートで32対36とし、4点差で踏みとどまる。

第3Q、両者マンツーマンディフェンスでスタートする。じわじわと福岡のディフェンスが神奈川を苦しめ、オフェンスでも#5のインサイドプレーや#4のスリーポイントで残り5分13点のリードを奪う。たまたま神奈川はタイムアウト。その後、福岡は#4の1対1や#9のスリーポイントで突き離しにかかるが、神奈川は#12のドライブ、#10のスリーポイントなどが決まり52対46で第3Q終了。第4Qは一進一退の攻防が続き、残り4分を切ったところで福岡#9のスリーポイントが決まり、9点のリードを奪う。神奈川のタイムアウト後、神奈川#4のインサイドプレーや#11のリバウンドシュートが決まるが、福岡も#5、#14のインサイドプレーで対抗。残り2分を切ったところで、福岡がこのまま逃げ切りに思われたが、神奈川#11、#14のシュートが決まり、4点差。最後は神奈川がファウルゲームに持ち込むが、福岡#11がフリースローを落ち着いて決める。残り48秒、粘る神奈川も#10のフリースローと#14のスリーポイントで1点差まで詰め寄る。しかし、神奈川のファウルにより福岡#11がフリースローを1投決め、2点差。神奈川#6が1対1から同点ゴールを狙いに行く。このシュートはリングに嫌われるが、リバウンド争いで、福岡がファウルをし神奈川に2本のフリースローを与えてしまう。しかし、それが1投しか決まらない。神奈川はファウルゲームに持ち込むがこれがアンスポーツマンライクファウルとなり、最後は福岡#11が落ち着いてフリースローを2投決め、71対68の3点差でゲーム終了。福岡の落ち着いたゲーム運びが神奈川の勢いを止めた試合だった。

記載者 高田裕己 (所属) 長崎県バスケットボール協会